

科学と宗教

小原克博（同志社大学 神学部 教授、良心学研究センター長）

<http://www.kohara.ac>

1. 宗教と科学——納得のための「物語」（理論）

2. 大学および学問の来歴

1) 中世ヨーロッパ（12世紀）に誕生した大学

- 上級学部：神学・医学・法学（有用な学）
- 自由学芸（リベラルアーツ）学部：古代ギリシアに由来する自由七科（文法学・修辞学・論理学・代数学・幾何学・天文学・音楽）。

2) 歴史的背景

- 11世紀の翻訳：イスラーム圏から古代ギリシアの学問がヨーロッパに再流入
- キリスト教の伝統とヘレニズムの伝統の融合→14世紀のルネサンスへ

3) 知の融合の中で生きた先駆者たち

- ニコラウス・コペルニクス（1473-1543）
- アイザック・ニュートン（1642-1727）
- 錬金術から化学へ

4) 自然科学の誕生

- 19世紀、リベラルアーツの諸学科→「哲学」へ
- 哲学：自然哲学（→自然科学）、知識哲学、道徳哲学

3. 宗教の起源

1) 世界の認識：シンボルの使用（約10万年前から）

2) 葬送儀礼

4. 進化論から見える宗教と科学の関係

1) 伝統的なキリスト教の人間観 (創世記 1:27-28)

「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」」

2) チャールズ・ダーウィン『種の起源』(1859年)

米国における進化論論争→科学と宗教の関係、政教分離

5. 近代日本における宗教と科学

1) 進化論をめぐる一般的状況

2) 天皇神話・皇国史観と進化論 (神的ルーツへの挑戦)

6. 現代および近未来の課題

1) 科学・宗教と国家権力

- 政教分離 (世俗主義) で問題は解決するのか：移民問題・テロとの関係
- 科学研究の軍事利用をめぐる議論：日本学術会議「安全保障と学術に関する検討委員会」(6月24日開始)

2) 科学技術の両義性：リスク社会

人間の欲望の制御

3) アニミズムからテクノ・アニミズムの時代へ

4) 二種類の「愛」

- 「変える愛」(科学的推論・制御に基づく。遺伝学的選択、教育、延命至上主義)
- 「受け入れる愛」(偶然の受容。「授かりもの」としての命、死の受容)

P

【参考文献】

小原克博『宗教のポリティクス——日本社会と一神教世界の邂逅』晃洋書房、2010年。

小原克博・中田考・手島勲矢『原理主義から世界の動きが見える——キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』PHP研究所、2006年。